大規模地震発生時の対応について

◆在校時に大規模地震が発生した場合の対応

一次避難	二次避難	三次避難（津波対策）
①教　室⇒「机の下にもぐれ」 体育館⇒「中央で頭を守れ」 屋　外⇒「中央で頭を守れ」 ②火を消す、電源を切る、ガスの元栓をしめる ③ドア、窓を開ける ④落ち着かせる、勝手な行動はさせない	①負傷者の確認、人員の確認 ②避難準備と注意 ・避難経路、火災場所の確認 ・押さない、走らない、しゃべらない、もどらない ・頭を守り、ハンカチで口を保護 ③指定場所に避難、誘導する ④HR 別に整列させ、人員点呼	①負傷者の確認、人員の確認 ②避難準備と注意 ・避難経路、火災場所の確認 ・落ち着かせる ③校舎4～7階に避難、誘導する ④HR 別に整列させ、人員点呼

津波被害想定地域に居住する生徒は、警報が解除されるまで学校待機とする。

◆地震発生時の生徒の行動

登下校時	校外活動時	在　校　時	在　宅　時
①学校に登校する（戻る）より安全、交通状況・手段）は、通学路の安全を確認しながら帰宅する。 ②学校の近くにいる場合は、学校に避難する。 ③学校に登校、自宅に帰宅できない場合は、最寄りの避難所に避難する。 ※避難所がわからない場合、近くの大人に聞く ④交通機関利用者は交通機関の指示に従う。 ※居場所を自宅又は学校に連絡するように努める。	①直ちに活動を中止し、安全の確保のために指導者の指示に従う。 ②安全（警報・道路状況・交通機関）が確認され次第、学校に戻るか、近くの避難所に避難する。 ※居場所を自宅又は学校に連絡するように努める。	①　上記の表に従って避難する。 ②安全（警報・道路状況・交通機関）が確認された場合、保護者に連絡を取るとともに、「生徒動向カード」に従い下校または、学校に待機させる。ただし、被害状況によっては、下校希望の生徒であっても、学校に待機させる。 ③学校待機の生徒で、安全（交通、通信、火災、倒壊等）が確認され、保護者が引き取りに来られる場合は、学校にて引き渡す。 ※無事帰宅した生徒は、学校に連絡するように努める。	①安全（警報・道路状況・交通機関）を確認し、自宅または避難場所に避難する。 ②自宅を離れ避難地へ移る場合は，居場所がわかるように玄関などにメモを掲示しておく。 ③居場所を保護者や学校に連絡するように試みる。

－家庭への連絡方法－
① BLEND による連絡
② 携帯電話
③ 加入電話
等を駆使して連絡を取る。